

## 2009年度 第1回 放射化分析研究会拡大幹事会 議事録

日時：9月28日（月）18:30-20:00

場所：日本大学文理学部百年会館ロビー

出席：海老原充，河野公栄，木川田喜一，初川雄一，三浦勉，宮本ユタカ，大浦泰嗣，高宮幸一，松江俊明，松尾基之，中西友子，大槻勤，関本俊（敬称略）

議題：

### （1）幹事の役割

「合意事項」

- ・幹事は役割を分担し，積極的に会の運営に当たる。
- ・幹事の役割を次の7つに分類する；  
編集，行事，選挙，会員，広報，監査，庶務
- ・行事，選挙，会員，広報は原則新旧幹事各1名とし，選挙は新幹事が，他は旧幹事が主義務を負う。ただし，本年はその限りでない。
- ・開放研を事務局とし，会計業務をお願いする。
- ・本年度の役割分担を以下の通りとする；  
編集：大浦，三浦，宮本  
行事：初川，福島  
選挙：木川田，松尾  
会員：松江，澤幡  
広報：高宮，榎本  
監査：河野  
庶務：海老原
- ・監査，選挙は編集も分担する。（但し，本年度は選挙幹事はその限りでない。）

「各幹事の当座の action item」（特記されない業務は通常通り）

- ・行事：KURの専門研究会の日程をなるべく早く会員に紹介する。
- ・選挙：選挙制度の見直し案を12月中にまとめて，幹事間に紹介。KUR専門研究会中に開催予定の第2回幹事会で最終案を作成。次回の幹事選挙から実施。
- ・会員：会費の納入状況を明らかにし，今後の会費徴収増を図るための方策を検討する。また，未納会員に対しての取り扱いに関する案を作成する。
- ・広報：出来るだけ迅速にwebの内容の更新を行う。会員の各種授賞もニュースとして積極的に取り上げる。
- ・監査：監査をどのくらい厳密にする必要があるかを調査し，今後の監査の方針案を作成する。

### （2）申し合わせの整理

#### a. 年度の区切り

年度の区切りを以下の通りとし，これ以降を新年度とする。この申し合わせは過去に遡って呼び方を統一する。

会計：4月

幹事の任期：日本放射化学会年会会期から翌年の会期

#### b. 選挙制度の整備

幹事の選挙方法，代表幹事の選挙方法を再検討し，次回の選挙から実施する。上記（1）

の「各幹事の action item」の選挙の項参照。

- c. 編集担当幹事の位置づけ  
従来通りとし、特別の取り決めをしない。
- d. 会計担当幹事の位置づけ  
会計幹事をおかず、事務局（開放研）に会計をお願いする。

(3) 会計報告（澤幡幹事；松江幹事が代理で報告）

2008年度の会計状況として単年度で僅かながら黒字であることが報告され、河野幹事から会計が適切であるとの監査報告があった。MTAA12に融通してある基金をあわせると約100万円の財産を持つことを確認した。

(4) 会の活性化、将来構想

会の活性化につながる将来構想として以下の項目があることが紹介され、特に放射化分析を優れた分析法であることをアピールするために、分析化学会での発表が継続的に行われることが望ましいことを確認した。個々の課題については時間がないために議論できなかった。

- a. KUR ユーザー（KUR 利用者の会）との連携
- b. KA3 との連携
- c. 放射化分析アジア連合  
FNCA 活動を基盤にできるか？ APSORC でのセッション提案
- d. JAEA での研究用原子炉将来構想  
JRR-3, JRR-4, JRR-5
- e. J-PARC での実験
- f. 分析法としての認知  
分析化学会での発表

(5) その他

特になし。